

どんなところ？ まちづくりセンター



皆さんは「まちづくりセンター」をご存知でしょうか？
「何をするとところ？」「どんなことができるの？」という皆さんの疑問にお答えするため、「まちセン」を訪ねました。



▲左から倉井さん、笹嶋会長、加賀所長

今回訪ねたのは、鉄東まちづくりセンター。広報編集サポーターの倉井悦子さんと一緒に、加賀賢治まちづくりセンター所長と地域のまちづくりに取り組んでいる、鉄東地区連絡協議会の笹嶋昭雄会長からお話を伺いました。倉井さんから所長や笹嶋会長に知りたい・聞きたいことをいろいろ質問。それではインタビューのスタートです。

主役は地域の皆さん まちセンはサポーター

加賀 本日はよろしくお願ひいたします。

倉井 こちらこそお願ひします。早速ですが、「まちづくりセンター」って何をするところなんですか？

加賀 地域の皆さんの身近な市役所の窓口として、住民票や戸籍など証明書の取り次ぎ、市役所の業務に関する相談や情報の提供などを行っています。もうひとつ大きな仕事として、地域のまちづくり活動のお手伝いをしています。

倉井 「まちづくり活動のお手伝い」って具体的にどのようなことを？

加賀 「まちづくり」というのは、地域の皆さんが自分たちいまのまちを住みよいものにしていくという活動です。例えば防災・防犯の活動、ゴミ拾いや街路の花植えなどの美化活動など。地域の皆さんが自分たちの手で住みよいまちをつくっていく。主役は地域の皆さんです。まちセンはこれらの活動を進める上で必要となる情報を提供したり、アド

バイスをしたり、いわばサポーターのような存在ですね。



また、まちセンの中にパソコンなどを備え付けている「情報交流スペース」を設け、情報発信・

収集、交流の場として利用していただいています。

笹嶋 打ち合わせなどで、利用させてもらっていますよ。

加賀 現在は町内会の方々の利用が多いですね。今後は、各方面でまちづくりの活動をされている方々にも利用いただき、町内会の方とも協力して一緒にまちづくりを進めていただければいいですね。

倉井 まちづくりの取り組みとして具体的にはどのようなものがありますか。

笹嶋 地域ゆかりの花を植えて沿道をきれいに彩り、地域のにぎわいを創出しようという「アマとホップのフラワールード」構想やファイターズ通りの花植え活動など。

倉井 きれいな花々を見るとほっと落ち着き、こころも和みいいものですね。

笹嶋 ほかに町内会や民生児童委員など、地域で運営する子育てサロン「てっちい」が6月から開催されています。また、今後の防犯・防災・交通安全の関係団体が中心となり、子どもたちの通学路での見守り活動などにも取り組む予定です。



倉井 わたしも児童会館の子育てサロンにボランティアで参加しているんですよ。こちらのサロ

加賀 地域の広報誌やホームページの開設などにより、もっと自分たちの住む地域のことに関心を持ってもらい、積極的にまちづくりに参加していただきたいと思います。これからはまちづくりセンターは地域と密着し、皆さんが取り組むまちづくり活動を支えています。地域、企業、行政がそれぞれの役割に応じて連携し、まちづくりを進めていきたいですね。

倉井 ありがとうございます。

